

富士河口湖町立 教育センターだより

No. 1 4

令和3年11月26日
文責 古屋ひとみ



河口湖新倉掘抜見学 講師は杉本悠樹さん

見学のポイントは「願い」



講師：杉本悠樹さん



石碑の前で河口湖新倉掘抜について説明

毎年行われている河口湖新倉掘抜の学習が終了しました。

この学習は町内の4年生を対象に行っています。講師は町生涯

学習課文化財担当の杉本悠樹さん。杉本さんには、常に様々な講座の講師をお務めいただいております。

当日は、記念碑、掘抜史跡館、掘抜(入り口、出口)県庁隧道、東電うそぶき放水路などを見学しました。見学のポイントは「願い」です。どのような願いがあり、願い実現のためにどのような努力や苦勞があったのか、その願いは実現したのかなど見学しながら考えていきました。

どこの学校の子どもたちも講師の杉本悠樹さんや河口湖新倉掘抜史跡館の古屋妙子さんのお話を真剣に聞きながら学習を深めていました。



河口湖新倉掘抜史跡館の古屋妙子さんの話をしっかり聞いている子どもたち



第二のトンネル県庁隧道の説明



東電うそぶき放水路出口の説明



第三のトンネル東電うそぶき放水路入り口の説明

町長さんと語る会

テーマ「富士河口湖町をさらに豊かな町にしていくためには」

11月17日(水)に富士河口湖町の児童会・生徒会のリーダーによる町長さんと語る会が開催されました。この活動は、子どもたちが町長さんに直接お願いできる貴重な機会となっています。議長は湖南中学校の下野駿太さん。各校から様々な質問や意見が出され、活発な話し合いが行われました。自分たちの学校や富士河口湖町の未来を真剣に考える姿は、大変立派でした。子どもたち



町長さんを囲んで記念撮影

の思いをしっかりと受け止め、丁寧に答えてくださった町長さんをはじめとする町の各課長の皆様方、本当にありがとうございました。特に町長さんの「将来、この町にもどってきて、みんなの力でこの町をつかっていってほしい」という熱い思いを深く頷きながら聞いていた子どもたちは、今まで以上に富士河口湖町について考え、自分たちの町を良くしていこうと意識を高めたことでしょう。

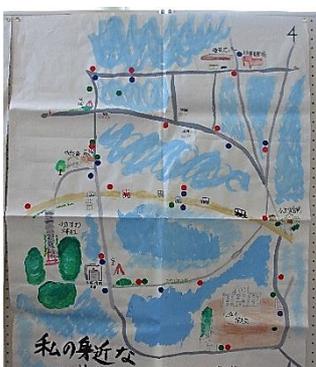
各校から代表として出席した皆さん、これからもリーダーシップを発揮し、学校の顔として活躍して欲しいと思います。

防災についての夏休みの自由研究展示会

自ら動いて研究を深めた17名

過日、お知らせしましたが、防災についての夏休みの自由研究を役場に展示しました。夏休みに、地域の防災力向上を目的に、ジュニア防災士講座を企画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、中止になってしまったため、子どもたちが各自で研究を行い、夏休みの自由研究として学校に提出した作品です。どれも、その子なりに考えて自ら動いて研究を深めていったことが作品から読み取れます。

ジュニア防災リーダーとして、今回の研究を積極的に様々な場面で発信して欲しいと思います。(ここに示した写真は作品全体のごく一部です)



自分で描いた地図に歩いて調べた消火栓・防火水槽・屋外消火器を書き込んだハザードマップ



防災食アルファ化米と同様に簡単にできる防災食のレシピを自分で考案し、家にある保存性の高い食材で実際に作ってみた写真。これ以外のページに作り方も詳しく書かれていた。



富士河口湖町の指定避難所の収容人数や備蓄されている非常食の種類などを調べてまとめた作品。町内の全ての避難所について調べを行った。